

大村竹窓 たけまど 儒醫。嘉永三年改路國洲木生れ、明治二年九月二日歿（一八五〇—七〇）。諱純安、純と終り、字誠齋。別號南海狂夫、竹窓散人。中村栗園、巖谷一六と始め、岡田鴨里、中田南洋等と學ぶ、のち篠田杏道に從ひ蘭學を修めた。慶應元年藩命により江戸に赴き英學を學ぶ、明治元年歸家して英書を講じた。翌年徳島の新居水竹等の朝廷上奏事件に連坐して死罪となる。

『竹窓遺稿』（明治二十二年十月下海政、兵庫・鹿島秀摩編刊）がある。

